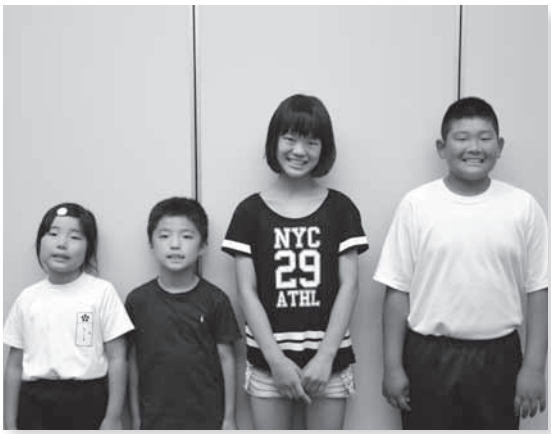
富岡小 オーケストラの生演奏を体験

6月7日、富岡小学校で関西フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ公演が行われました。64人の団員が、チャイコフスキーの「白鳥の湖」やベートーヴェンの「運命」など、児童たちが知っている身近な曲を披露しました。公演の最後には、オーケストラの伴奏による校歌斉唱が行われ、児童たちは、演奏に負けないくらい大きな声で、校歌を歌っていました。オーケストラの演奏を初めて聴いた児童も多く、きれいな音色だったので弦楽器を弾いてみたいと目を輝かせていました。

高富サッカー少年団が 岐阜県大会で優勝！

6月9日、高富サッカー少年団が第10回140周年記念じゅうろくカップU−11岐阜県サッカー大会で優勝したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。高富サッカー少年団は、岐阜、西濃、東濃、飛騨から参加した156チームの中から勝ち抜き、優勝しました。報告に訪れた選手は、「コーチの話をよく聞き、一人ひとりが能力を高めることができた。これからも全国大会出場を目標に頑張りたい」と抱負を語りました。

「歯と口腔の健康づくり 優良児童」審査会を開催



6月15日、第58回「歯と口腔の健康づくり優良児童」審査会が行われました。この審査会は、小学校3年生と6年生が対象で、1次審査を通過した36人が2次審査に臨みました。最優秀賞となった4人は、書類審査と歯科医師による検診の結果、決定されました。審査を行った歯科医師は「2次審査に残った36人全員虫歯も無く、歯並びもきれいで優劣つけがたかった。すべての子が学校の代表として恥ずかしくない」と講評しました。

表彰式は、10月に花咲きホールで行われます。

これからの社会を担う わたしたちの主張

6月18日、美山中央公民館で「山県市少年の主張大会〜わたしの主張2017〜」が行われ、市内の小中学校の代表12人が家庭、学校、地域での活動や体験を通して感じたことなどを発表しました。選考の結果は次のとおりです。（敬称略）

【優秀賞】杉山奈央莉（高富中）、藤井順菜（伊自良中）

【奨励賞】田原暖笑（高富小）、土田小晴（富岡小）、佐野ひかり（伊自良北小）、島戸百花・加藤昂太郎（以上、伊自良中）、恩田悠宇・堀聡音（以上、高富中）、藤田浩史・南谷梨乃亜・荒深遼斗（美山中）

プールに歓声！
鮎のつかみ取り体験

6月22日、青波の美山観光やなで、富波保育園の年長、年中の園児16人が鮎のつかみ取りを体験しました。

鮎のつかみ取りは、敷地内に設置された専用のプールで行われ、毎年恒例行事となっています。

生きた魚を初めて触る園児は、鮎を捕まえることをためらっている様子でしたが、鮎を捕まえると「捕まえたよ。鮎ってぬるぬるするね」と歓声を上げていました。どの園児も、転んで濡れても気にせず、鮎を捕まえることに夢中でした。

リトアニアから
訪問団が市長表敬訪問

リトアニア国パクルオイス市からの訪問団が山県市ホストファミリーの会との交流を目的に6月22日に市長を表敬訪問しました。訪問団のメンバー構成はパクルオイス市長をはじめ、市関係者と同市のロータリークラブの会員、そして13～18歳の学生と通訳者の合計27人。訪問団は、今回の訪問をきっかけに、今後も両市の民間団体同士の交流を続け、良好な関係を構築していきたいと意気込みを語りました。その後、団員の一部が、22日～25日にかけて山県市ホストファミリーの会の会員の自宅でホームステイをし、日本の生活や文化を肌で体験するなど、市民間での文化交流を満喫しました。

ハーバスに乗って
探検　僕のまち・私のまち

6月22日と23日の2日間、富岡小学校2年生が自主運行バスのハーバスを利用して、市図書館に行きました。例年はスクールバスを利用して公共施設見学を行っていました。しかし、児童たちがバスに乗る機会が減り、バスの乗り方を知らない児童もいることから、生活科の学習の一環でハーバスを利用しバスの乗り方を学習しました。バスに乗った児童たちは、「ハーバスには初めて乗った。今度は家族と一緒に乗りたい」と話していました。

親子でDIY！空き家
リノベーションワークショップ

6月25日、NPO法人山県市総合ボランティア・サポートセンターが、市内の空き家を利用したDIY体験イベントを行いました。

当日は県内外から田舎暮らしや、自分で家屋を修繕したり家具を作ったりするDIYに興味を持つ親子、岐阜女子大学の学生など48人が参加。美山杉の床板貼りや内壁の漆喰塗り、ペンキ塗り、薪割りを体験し、慣れない作業に苦労しながらも専門家の助言を受け、楽しんで取り組んでいました。

参加者は当初予定の定員を大幅に超え、田舎暮らしやDIYへの興味の高さがうかがえました。